

コンフォートベンチ

クッション素材で快適な座り心地
誰もが座りやすいユニバーサルベンチ

U241 コンフォートベンチ

Concept

通常公園などの屋外空間で使われるベンチは、木材や合成木材、プラスチック、アルミなど、どれも硬質な素材で作られているため、座った時の当たりが硬いベンチとなっています。それを和らげるために座面の角度や形状を工夫し、少しでも座り心地の向上を求めてデザイン・設計されていますが、根本的な着座時の当たりの硬さは解決することはありません。特に高齢者の場合、筋肉や脂肪がどうしても減少傾向にあり、公園のベンチでゆっくり休みたくてもお尻が痛くて長く座れないという声が多くあります。また、高齢者でなくても同様に感じている人が多くいます。

この製品は、少しでも多くの人が快適に座る事ができるクッション性のあるベンチを作ろう、という思いの下デザインした新しいユニバーサルベンチです。

このベンチは、丸みを帯びた厚みのある座クッションと PC 脚で構成しており、デザインとしても座り心地の良さや柔らかさを表現し、景観施設としても優れたデザインのユニバーサル製品に仕上がっています。

また、重量のある PC 脚のため、基礎工事不要の据置式でご利用いただけます。

安全性への配慮

座面全体が柔らかい素材な上、角の無い丸みを帯びた形状にしています。それにより、不意の転倒でベンチに衝突しても大きな怪我に繋がりにくい、安全性の高いベンチです。高齢者やお子様なども安心してご利用いただけるベンチです。

耐久性・メンテナンス性

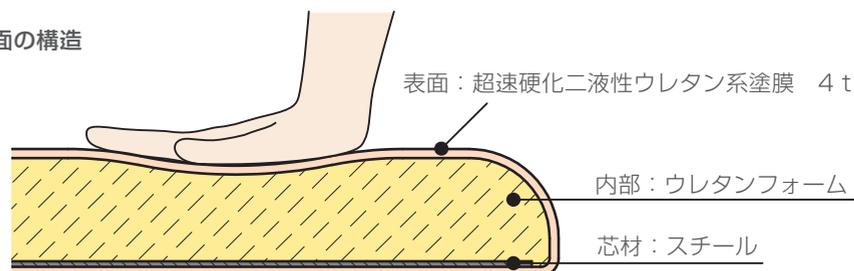
座面はウレタンフォームに超速硬化二液性ウレタン系塗膜をコーティングしたものです。このコーティングはビルやマンションなどの屋上防水コーティングと同等のもので、高い耐候性・耐久性を持っています。コーティング厚さは約 4mm で十分な厚みがあり、高い柔軟性と強度を両立しています。

万が一切られたり穴が空いたりした場合は、基本的に穴周辺を切り取ってその部分を再コーティングします。その後、座面全体を塗装し直して色ムラなく仕上げる部分補修も可能です。(補修部分に多少の段差は発生します) また、座面全体の張替えや交換も可能な構造になっています。

※部分補修方法はその製品の状態によっては記述の方法と変わる可能性があります。



■座面の構造



座面のクッション性は、強く押すと軽く窪む程度の硬さです。
大きく沈み込むことがないので、ウレタンもへたらず長持ちします。

■仕様

サイズ：W1200 D460 SH400

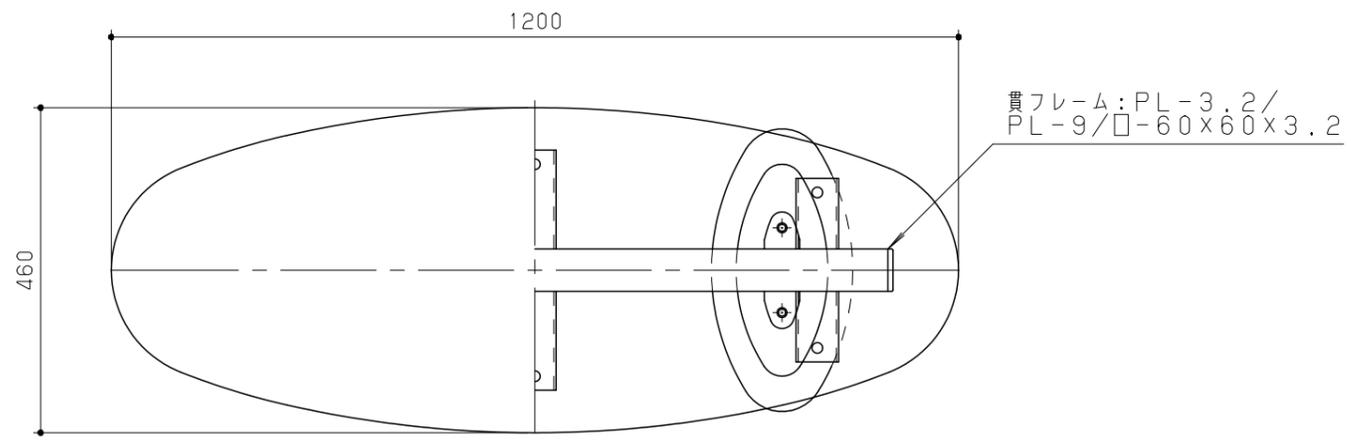
座面：スチールベース + ウレタンフォーム + 超速硬化二液性ウレタン系塗膜

フレーム：スチール（電気亜鉛メッキ + ポリエステル樹脂粉体塗装）

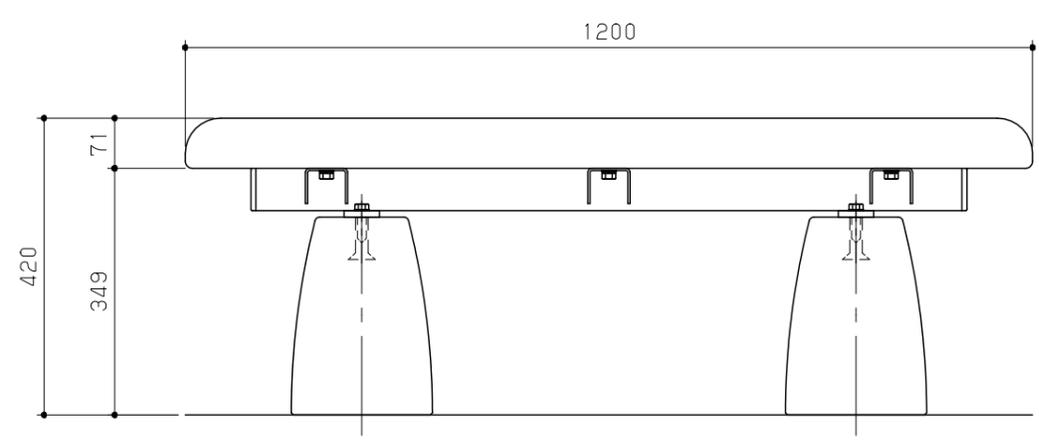
脚：PC コンクリート

据置式

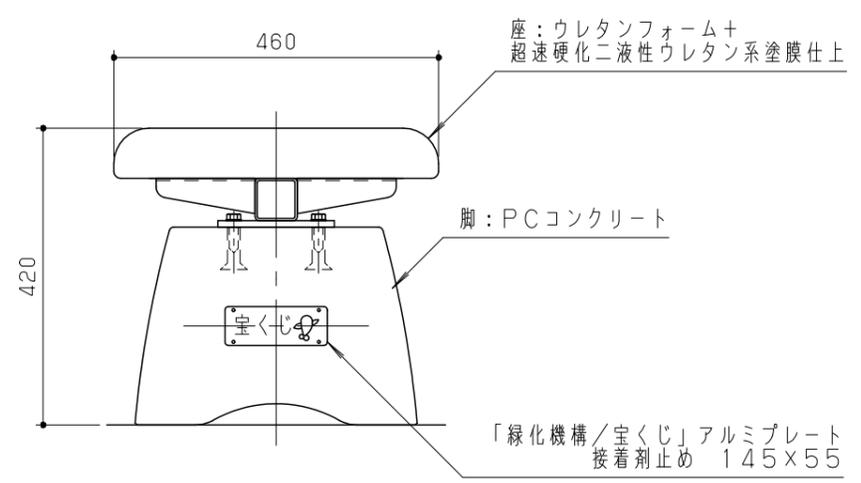
重量：90 kg



平面図 S = 1 / 10



立面図 S = 1 / 10



側面図 S = 1 / 10

超速硬化二液性ウレタン系塗膜は三井東圧(株)リムスプレー同等品以上とする。
 鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装または、ウレタン樹脂塗料塗装(パールグレー)仕上げとする。
 本製品は、(一社)日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品、およびSPL表示認定企業製品とする。
 本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。